

建設のあゆみ

8月～9月

完成した事業

- | | | |
|---|------------|--------------------|
| ① | 横小フエンス取付工事 | 130m |
| ② | 長倉暗渠伏替工事 | 12m |
| ③ | 役場敷地舗装工事 | 2300m ² |
| ④ | 道路舗装工事 | |
| | 松尾蓮沼線 | 350m |
| | 木戸台青年館通り | 710m |
| | 取立長倉線 | 403m |
| | 上町古川線（古川） | 223m |
| | 本町画園線（画園） | 548m |

9月着工予定及び工事中の事業

- | | | |
|---|------------------|------------------------|
| ① | 上町鳥喰線排水路工事 | 400m |
| ② | 本町排水整備工事 | 130m |
| ③ | 町営住宅敷地造成工事 | 1,310m ² |
| ④ | 県営住宅敷地造成工事 | 3,574.05m ² |
| ⑤ | 道路舗装工事
長倉～遠山線 | 1,700m |
| | 東町区内 | 140m |
| | 県道片貝飯岡線(三本松) | 1,100m |

きない道路については、交通資本とも呼ばれ、今年度は、道路整備第六次五ヶ年計画の第一年目で改良、舗装が着実に進められ、近代的な道路網の整備がはかられます。また、交通安全对策の充実に力を入れて、歩道一、六〇〇キロ、横断歩道橋四三八ヶ所の整備を行なうことになっているほか、市街地の道路である街路の整備にも特にお金が使われます。このほか、本州四国連絡橋公団を新しく設け、本州と四国を結ぶ架橋事業を推進することにしていました。住宅については、急激

建設五ヶ年計画の第五年目にあたり、全国で、約一六二万戸の住宅が建設され、と見込まれていますが、そのうち、政府施策による分は、四十四年度より約三五戸多い約六二万戸が建設されることになります。このほか、港湾、空港、下水道などの整備が行なわれており、治山、治水についても、五ヶ年計画が定められています。このように、社会資本の整備のために、一般会計から、その一七、七八パーセントにあたる、一兆四千九十九億円が使われているのです。

国民年金制度ができて「国民皆年金」の社会になつたことは、すでにご存じのことでしょう。会社や役所で働く人々は厚生年金や共済組合に、農家や商店など自家営業の人は夫婦そろって国民年金に加入し、だれもが老後に年金を受けられるようになりました。さて「国民皆年金」と申し上げましたが、ご主人が厚生年金や共済組合に加入している奥さま方は、国民年金に加入していないければ、老後にご自身の年金は受けられません。そこで、サラリーマンの奥さまに、国民年金への加入をお勧め

すすめします。国民年金ではサラリーマンの奥さまは、希望によって加入する任意加入となっています。これは、奥さまが、ご主人の厚生年金あるいは共済組合によって、一応の保障はされていると見られているためです。しかし、その保障は、ご主人が不幸にして障害者になったとき（障害年金）死亡したとき（遺族年金）年をとって勤めをやめたとき（老齢・退職年金）などで、あくまで、ご主人の疾病、死亡、老齢という事実に対しています。したがって、奥さまが年をとっても、また不

サラリーマンの奥さま方も
国民年金に加入出来ます

老後の保障

国民年金に加入出来ます

た場合でも、主人の年金制度からの保障はありません。国民年金に加入しますと、万一一、障害者になったときには障害年金が、ご主人に先立たれて母子世帯になったときには、ご主人の遺族年金のほかに母子年金が、そして老後には、ご主人は勤め先の年金を奥さまは国民年金の老齢年金と、ご夫婦そろって年金を受けすることができます。今から

て暮らせる保障に、また、さまで自身の年金を確保するため国民年金への加入をおすめします。なお、国民年金あらましは次のとおりです。
保険料——一か月四五〇円
(給付)
老齢年金（六十五歳から）

橫芝併壇

夏蝶のみどりの岡を白く去り
ブル当番終わり来て立秋の
日を知れり 古内 青人

税金よ何処へ行く

私達が國に納めている税金は、どのように使われているのか、そのあらましを、前回に統いて説明します。

道、ダムなどのように、私たちの生活を豊かにするための施設を社会資本といいます。産業の発展や、地域開発のために欠くことのできない、道筋につけては、そ

手花火や屈めば土に残る熱
住み古りし貪乏草や夏の蝶

帰省子はどの駅あたりけさの
秋、虫ピンをさすもためろう大揚羽

な都市化により生じた住宅難の解消など、国の出資が大きくなっています。今年度は、国がたてた住宅建設五ヶ年計画の第五年目にあたり、全国で、約一六二万戸の住宅が建設されると見込まれていますが、そのうち、政府施策による分は、四十四年度より約三万戸多い約六二万戸が建設されることになっています。このほか、港湾、空港、下水道などの整備が行なわれており、治山、治水についても、五ヶ年計画が定められています。このように、社会資本の整備のために、一般会計から、その一七、七八・セントにあたる、一兆四千九十九億円が使われているのです。



宇都木吐句志